

3 小国 141  
大書

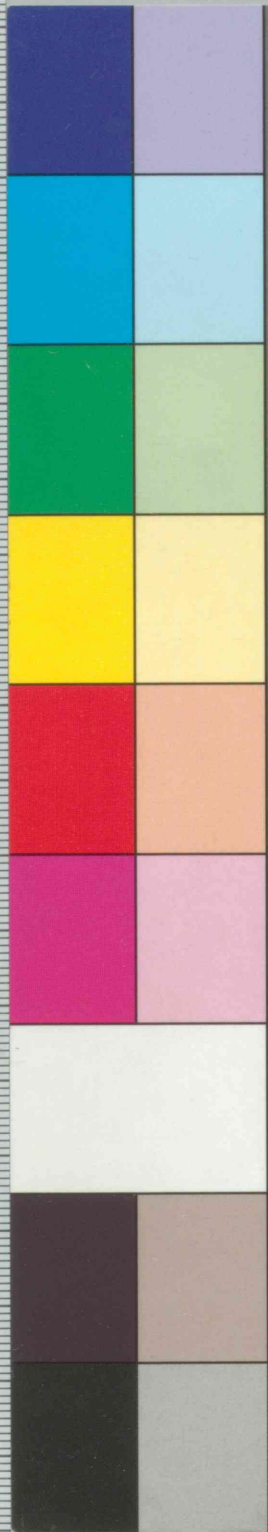
重松 鷹泰 監修

# あかるい そら

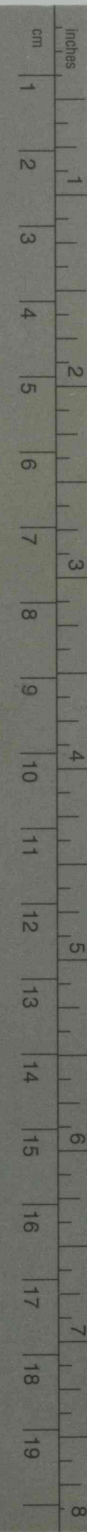
しょうがく こくけい  
一ねん 中

教育部  
資料室

文部省検定済教科書



Kodak Color Control Patches



Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

60348

教科書文庫

6  
810  
34-1950  
01304  
49887



文部省検定済教科書

寄贈

中央図書館

# あかるい そら

しょうがく こくご 一ねん 中



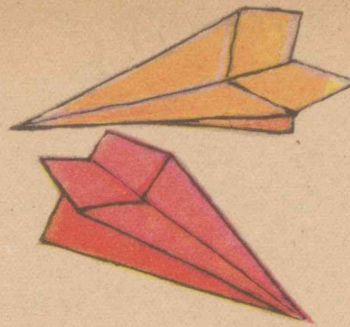
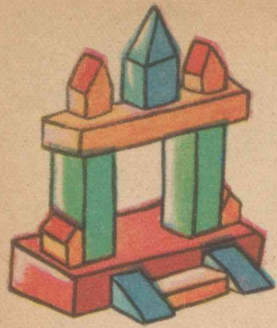
廣島大學  
教育學部圖書

大阪書籍株式会社

広島大学図書

0130449887





あたらしい ことば  
五十おん  
かんじ

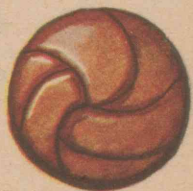
六 わたくしの けいこ ..... 84  
 (二) (一) どうわ ..... 78 70  
 五 いい てんき ..... 64 54  
 (二) (一) おきやくさん ..... 64 54  
 ことばあつめ ..... 64 54  
 いなかへ ..... 54  
 四 いなかへ ..... 52 48 40  
 (四) (三) (二) つなひき ..... 52 48 40  
 てがみ ..... 48  
 おたずね ..... 40

もくろく  
 一 あかるい そら ..... 36  
 あかるい そら ..... 36  
 ひこうき ..... 32  
 かくれんぼ ..... 28  
 ぶらんこ ..... 28  
 おにごっこ ..... 22  
 おはなし ..... 16  
 二 おはなし ..... 16  
 にちようび ..... 14  
 えの おはなし ..... 14  
 いきたい ところ ..... 10  
 おたずね ..... 6  
 かぜ ..... 4  
 (一) (二) (三) (四) (五) ..... 4



みどりの  
くさだ。

ころ、  
ころ、  
ころ。



あかるい  
そらだ。

ぽん、  
ぽん、  
ぽん。

—  
(一) あかるい そら  
あかるい そら



ひこうきが  
おりました。

ふわり。

ふわり、

ふわり、

ひこうきを  
とばしました。

すい。

すい、

すい、

(二) ひこうき



「あ、ひこうきだ。」  
「ひこうきだ。」

「はい、  
はい。」

「きらきら、  
ひかる。」



「とん とん、

ひこうき。」

「ひこうき

たかいな。」

「ひこうきに  
のりたいな。」



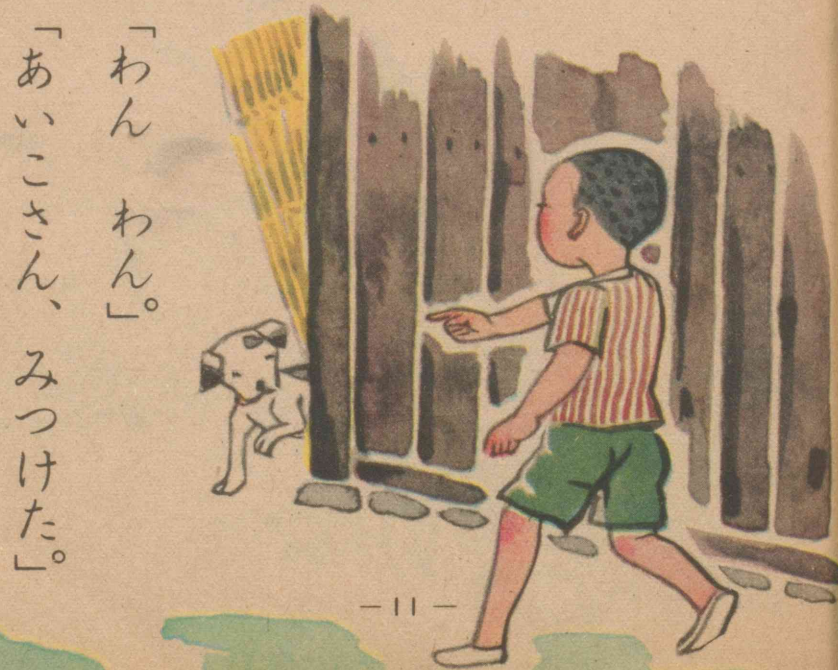


「しろ、  
だまって  
いるのよ。」



「もう  
いいかい。」

(三) かくれんぼ



「わん わん。  
あいこさん、  
みつけた。」



「かくれんぼ  
しましう。」  
「はい、  
しましう。」



「どこでしょう。」  
 「あら、はなが  
 ゆれて  
 いる。」

「きよしさん  
 みつけた。」



「もう  
 いいかい。」

「まあだだよ。」

「もう  
 いいかい。」  
 「もう  
 いいよ。」





あいこさんは、  
「そらが まわる。」  
と、いいました。  
ようこさんは、  
わらいながら  
のって、いきました。

(四) ぶらんこ  
きよしさんは、  
「かきねまで ふるよ。」  
と、いって、ふりました。  
ひさおさんは、  
「やまが みえるまで  
ふるよ。」  
と、いって、ふりました。



(五) おにごっこ

「こんどは、  
おにごっこを  
しましう。」  
「はい、  
しましう。」



「じゃんけんぽん。」  
「じゃんけんぽん。」  
きよしさんが、  
おにになりました。

あいこさんが、  
 せなかに、  
 さわられました。  
 あいこさんは、  
 せなかを おさえて、  
 おいかけました。



ひさおさんが、  
 みぎの かたに、  
 さわられました。  
 ひさおさんは、  
 みぎの かたを  
 おさえて、  
 おいかけました。

「こんどは、  
くびに さわりますよ。」  
みんなは、あわてて  
にげだしました。



さちこさんが、  
ひだりの うでに、  
さわられました。



「こしなら  
いいわ。」  
はるこさんが、  
こしに、  
さわられました。



にいさんの しゃつを、  
 せんたくしました。  
 わたくしは、  
 わたくしの はんかちを、  
 せんたくしました。

おかあさんと  
 うたを うたいながら、  
 せんたくを しました。

二 おはなし

(一) にちようび

みんなで、にちようびの  
 おはなしを しました。

○

わたくしは、  
 おかあさんと、  
 せんたくを しました。

おかあさんは、



○  
 にいさんと、おがわへ  
 めだかとりにいきました。  
 めだかは、たくさん  
 およいでいきました。  
 そろって、およいで  
 いました。  
 めだかを、六ぴき  
 とりました。



いしの あいだから、  
 どじょうがでてきました  
 二ひき そろって、  
 でてきました。  
 一ぴきはとりました。  
 一ぴきはにげて  
 しまいました。  
 めだかど どじょうは、  
 にわのいけにいれました。

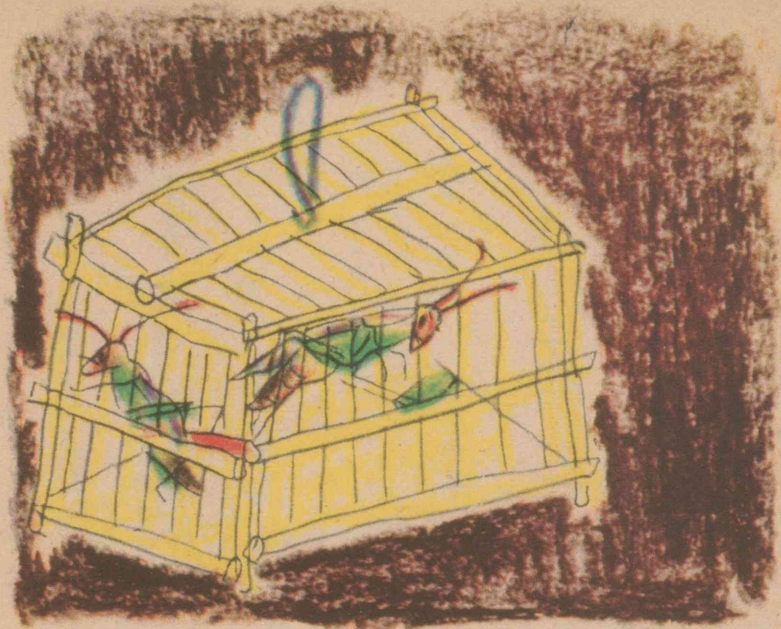




○  
 おかあさんと、  
 おばさんの うちへ  
 いきました。  
 きみちゃんと ふたりで、  
 つみきを しました。  
 いえを つくりました。  
 きしゃも つくりました。



きみちゃんに、  
 えほんを  
 よんで あげました。  
 おばさんが、  
 「よく よめるのね。」  
 と おっしゃいました。  
 えほんを、  
 ニさつ いただいて  
 かえりました。



ぼくは、にいさんと、  
 きりぎりすを  
 かって います。  
 にいさんののは、  
 大きいけれども、  
 なきません。  
 ぼくのは、  
 小さいけれども、  
 よく なきます。



(二) えの おはなし  
 けさ、はじめて  
 あさがおが さきました。  
 むらさきの はなでした。  
 ぱっちりと  
 さいて いました。  
 あすも、  
 一つ さきます。



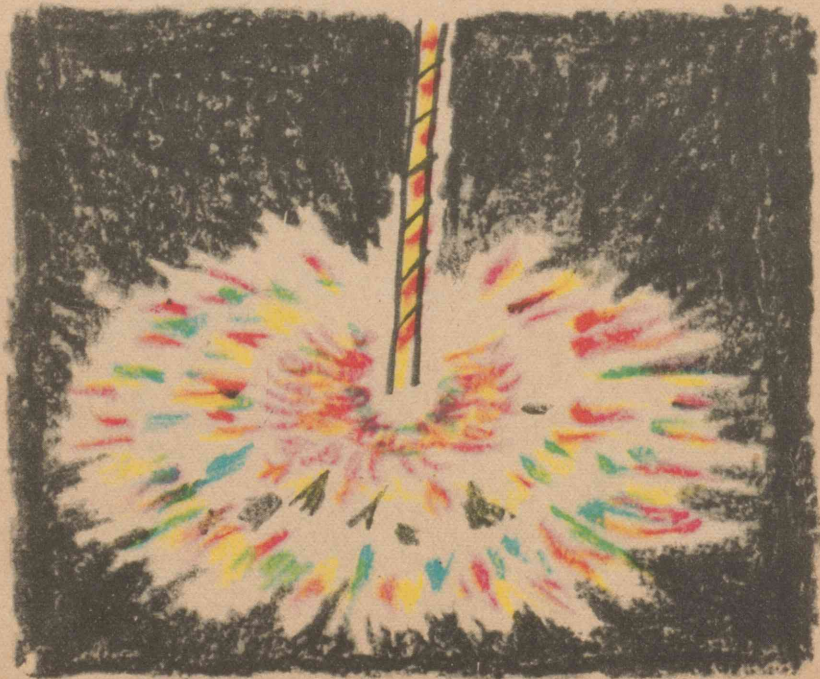
わたくしと  
おかあさんとで、  
つくった とまとです。  
たくさん  
なって います。  
いま、二つ  
あかく なって  
います。



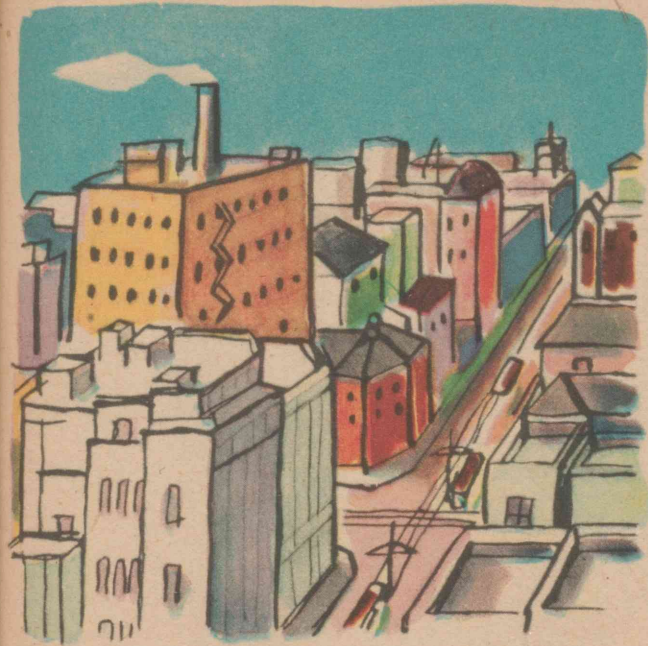
おとうとと  
はなびを しました。

しゅ、しゅ、しゅ。  
ぱっ、ぱっ、ぱっ。

あかちゃんも、  
よろこんで  
みて いました。

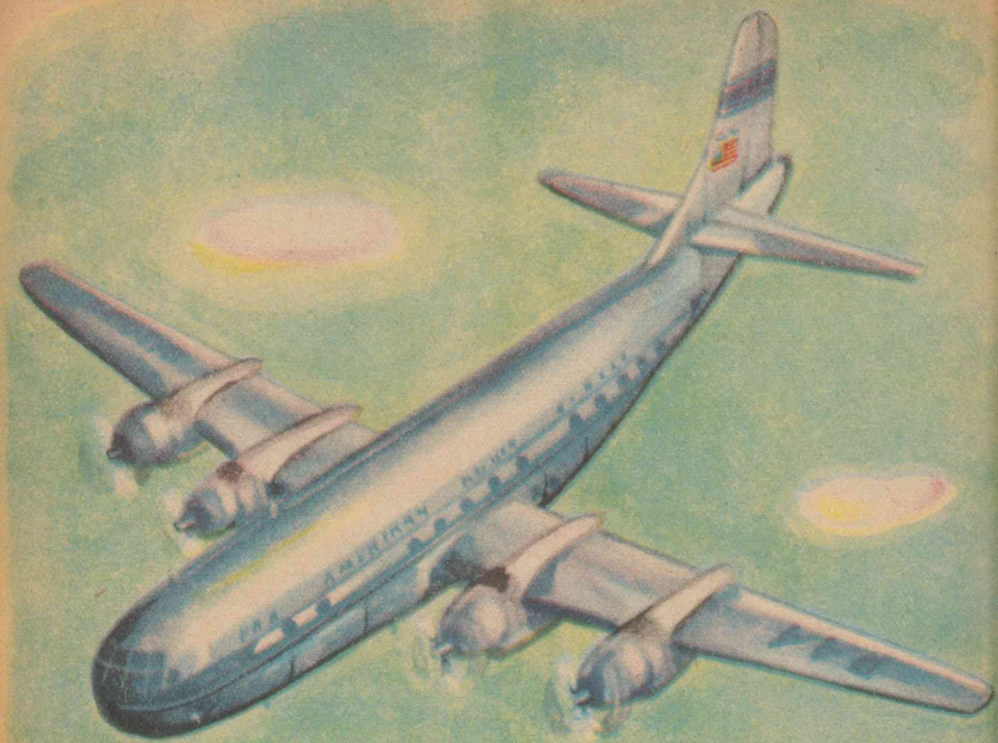


わたくしは、どうぶつえんへ  
 いきたいと おもいます。  
 ぞうや  
 きりんが  
 みたいのです。  
 ぞうが、  
 らっぱを ふいたら、  
 おもしろいでしょう。

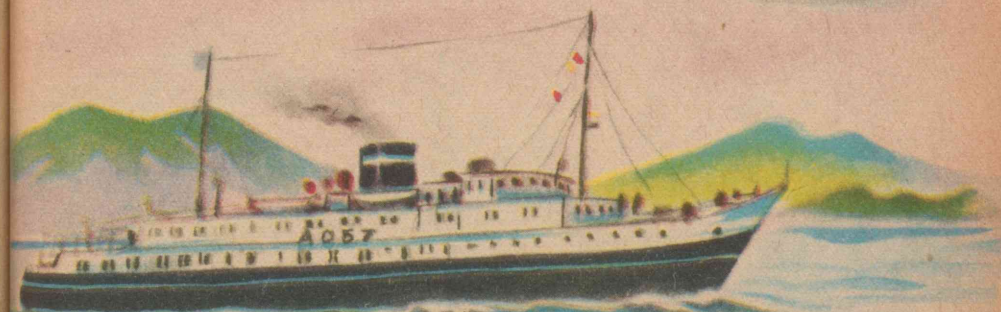


あなたの  
 いきたい  
 ところは、どこですか。  
 (三) いきたい ところ

ぼくは、  
 きしゃに のって、  
 にぎやかな まちへ  
 いきたいと おもいます。  
 まちの こうえんで、  
 あそびたいと おもいます。



わたくしは、  
 うみへ いきたい。  
 うみべで、かいがらを  
 ひろいたい。  
 しろい きせんに  
 のって、  
 とおい しまへ  
 行って みたい。



ぼくは、  
 ひこうきに のりたい。  
 ぷるぺらの、  
 四つ ある  
 ひこうきに のりたい。  
 しろい くもの 上を、  
 あめりかまで  
 とんで いきたい。



ぶどうだなの 下を、  
くぐりました。  
ぶどうの はが、  
ゆれました。  
ぶどうの たまが、  
ひかりました。



かぜが、あちらこちらを  
たずねて いきました。

えんがわへ  
いきました。  
ちりん ちりん。  
ふうりんが なりました。

三 おたずね  
(一) かぜ

うんどうばを、  
とおりました。

ぽぷらが、  
ゆれました。  
さらさらさらと  
ゆれました。



かざぐるまが、  
いせいよく  
まわりました。

「かぜが ぶいて  
きた。」

あいこさんたちが、  
かけだしました。

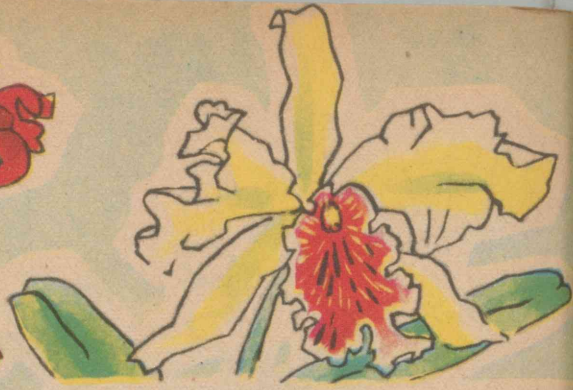
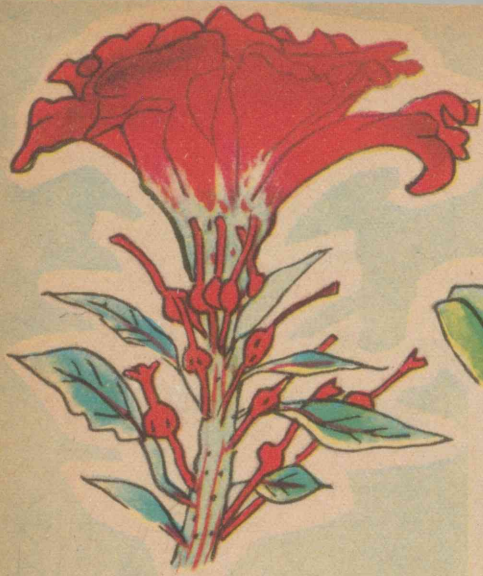


あいこさん、  
はんかちを  
もちましたか。  
はんかちは、どんな  
ときに つかいますか。  
おべんどうの ときに、  
手を あらいますか。

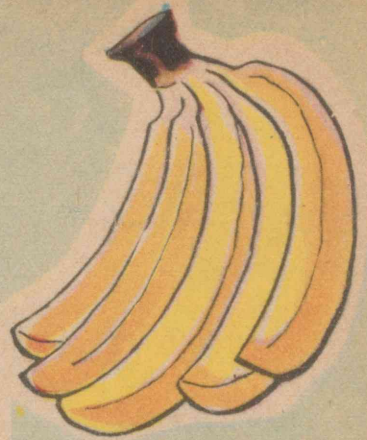
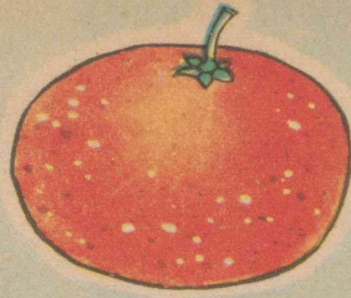
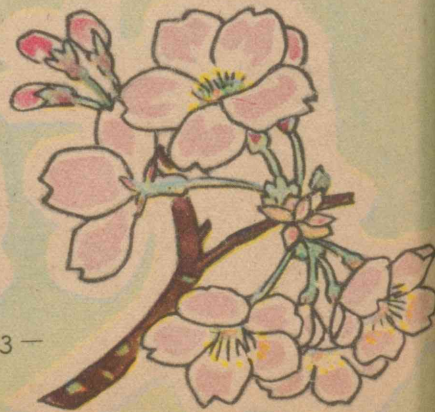


(二) おたずね  
きよしさん、ほんは、  
そろって いますか。  
ちようめんは、  
そろって いますか。  
えんぴつは、  
なんぼん ありますか。  
おれて いる えんぴつは、  
ありませんか。

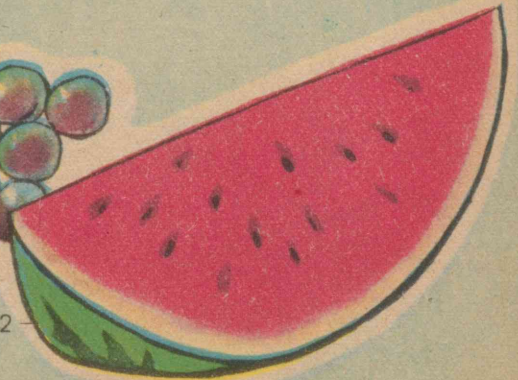
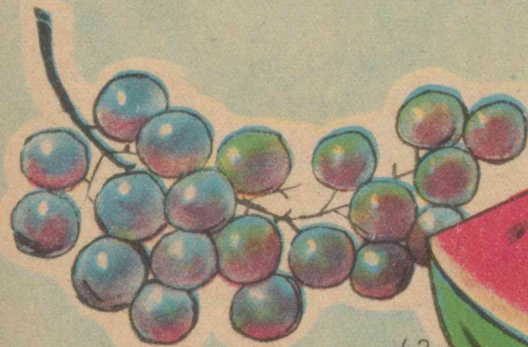
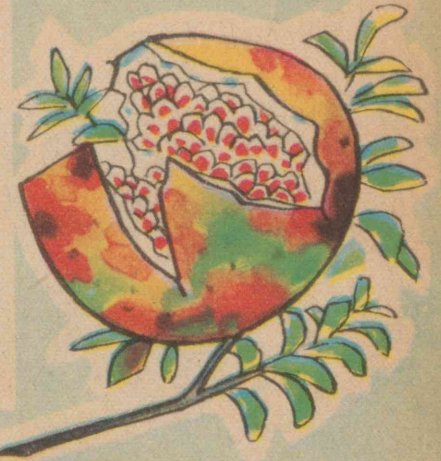




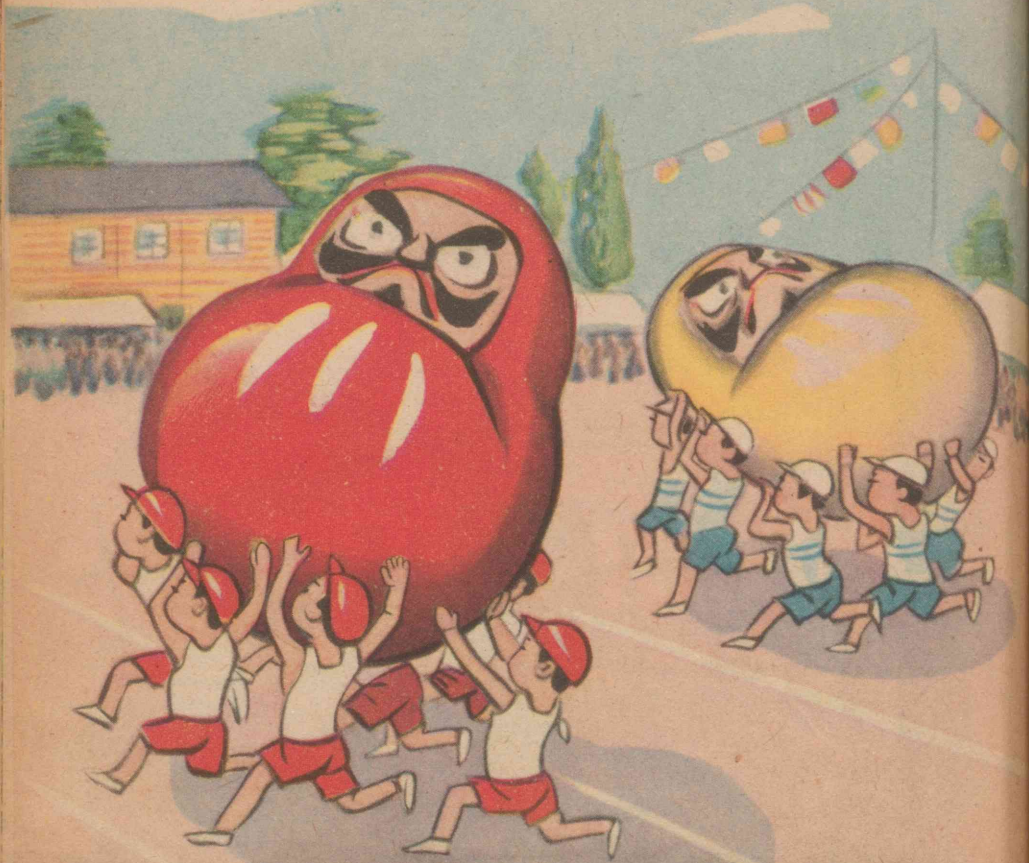
ちよこさん、  
 どんな はなが  
 すきですか。  
 すきな はなを、  
 たくさん  
 買って ごらん下さい。



ひさおさん、  
 どんな くだものが  
 すきですか。  
 すきな くだものを、  
 たくさん  
 買って ごらん下さい。



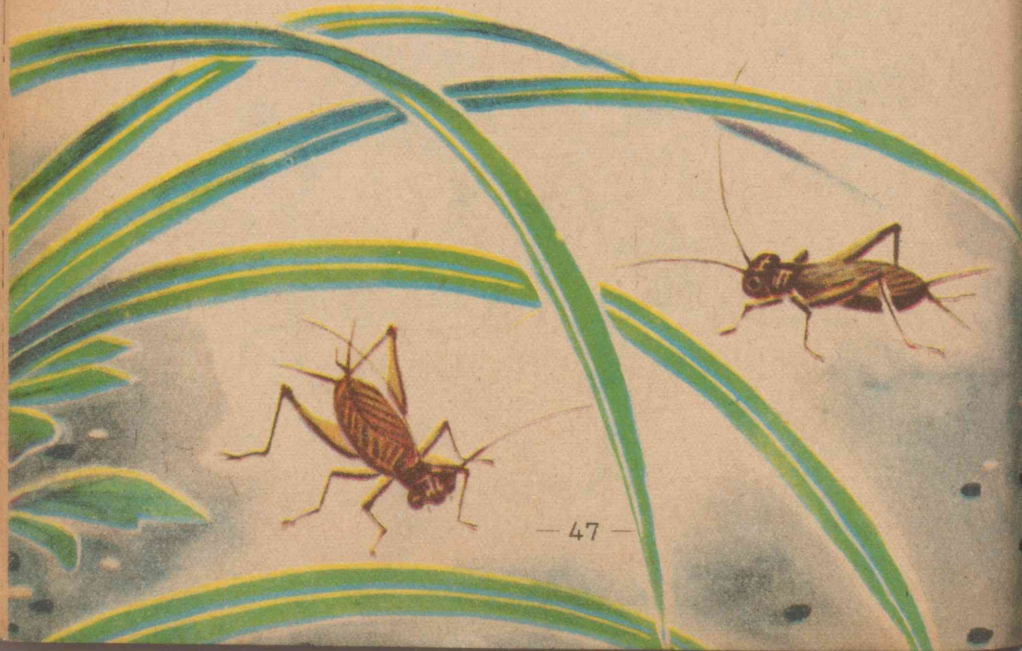
せんせい、  
うんどうかいは  
いつですか。  
わたくしたちは、  
うんどうかいに、  
どんな ことを  
するのですか。  
かけっこも  
するのですか。



せんせい、  
つばめは、どこへ  
いったのですか。  
うちの つばめは、五わとも  
いなく なりました。  
うみの ほうへ  
いったのですね。  
どうして、いって  
しまったのでしょうか。



おかあさん、  
こおろぎは、  
くらい ところが  
すきですね。  
くらい ところが  
すきだから、  
くらい からだを  
して いるのですね。



おばあさん、  
うちの かきの 木は、  
いつから あるのですか。  
おばあさんの、  
こどもの ときから  
ありましたか。





(三) てがみ

つねこさん、

びょうきは いかげですか。

ぼくらは、かけっこを しました。

つねこさんは、

ぼくらの くみですよ。

ぼくらの くみは、ハにんです。

はやく なおって

おいでなさい。 きよし



つねこさん、

わたくしたちは、

たまいれを しました。

あかが 十九、しろが

十七 はいりました。

わたくしたちは

あかです。 つねこさんは、

いつから がっこうへ

こられますか。

あいこ



おてがみ ありがとう。  
 わたくしは、かぜを  
 ひいて やすみました。  
 おかあさんに、えほんを  
 よんで いただいて  
 ねて います。  
 おいしやさんに  
 みて いただきました。

おいしやさんは、  
 もう みっか たったら、  
 がっこうへ いったも  
 いいと、  
 おっしゃいました。  
 かけっこや たまいれが、  
 したくて たまりません。

つねこ

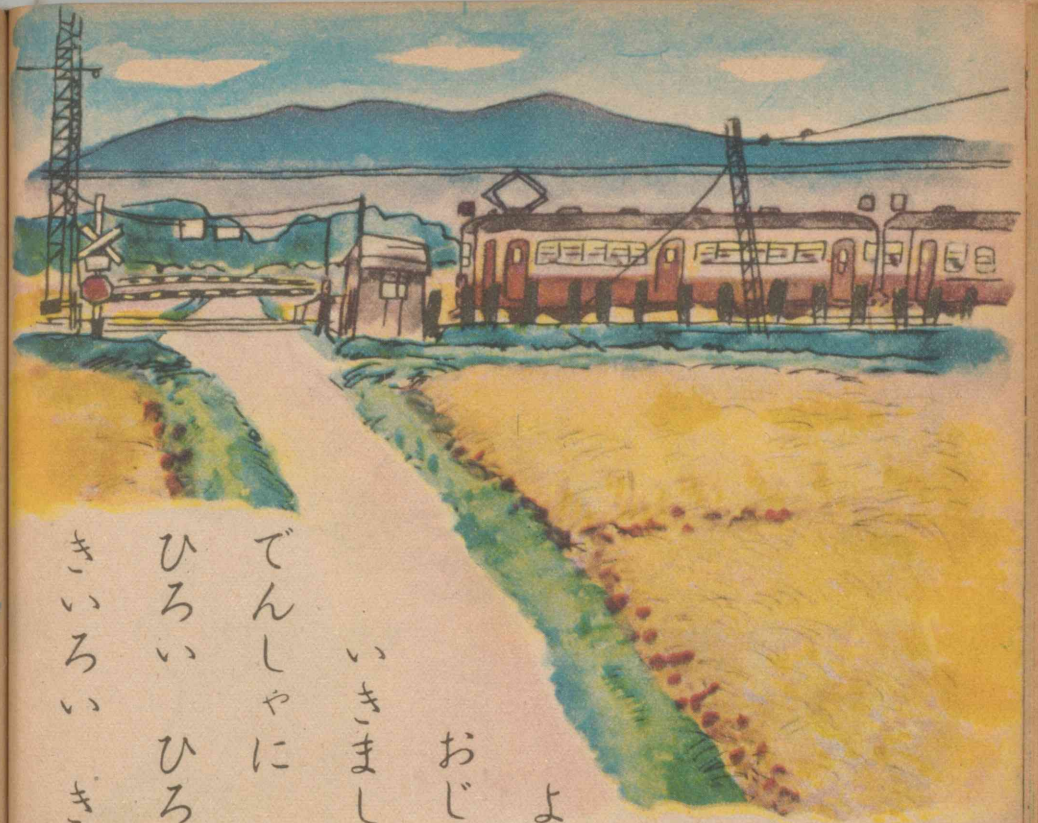


だあん。  
 よいしょ、  
 よいしょ、  
 もって、  
 しっかり



(四)  
 つなひき  
 だあん。  
 こえを  
 そろえて、  
 よいしょ、  
 よいしょ。

おじいさんは、  
 「よく きたなあ。」  
 と おっしやいました。  
 おばさんは、  
 「ゆっくり あそんで  
 いきなさい。」  
 と おっしやいました。



四 いなかへ  
 (一) いなかへ  
 ぼくと おとうさんと  
 ようこと、いなかの  
 おじいさんの うちへ  
 いきました。  
 でんしゃに のって いきました。  
 ひろい ひろい、たんぼが みえました。  
 きいろい きいろい たんぼでした。



「牛をみにいこう。」

と、ひろしくんが

いいました。

ふたりで、

牛ごやへいきました。

かわいいこ牛がいきました。

みみを、ぴくぴく

うごかしていきました。



「もうー。」

とぼくがいうと、

牛は、びっくりして

ぼくらをみました。

ひろしくんは、

牛のはなを

なでました。

ぼくも、そっと

なでました。



おじいさんが、  
 さつまいもを ほって  
 いらっしやいました。  
 ぼくらも ほりました。  
 つちの なかへ、  
 手を いれると、  
 大きな おいもが  
 手に さわりました。



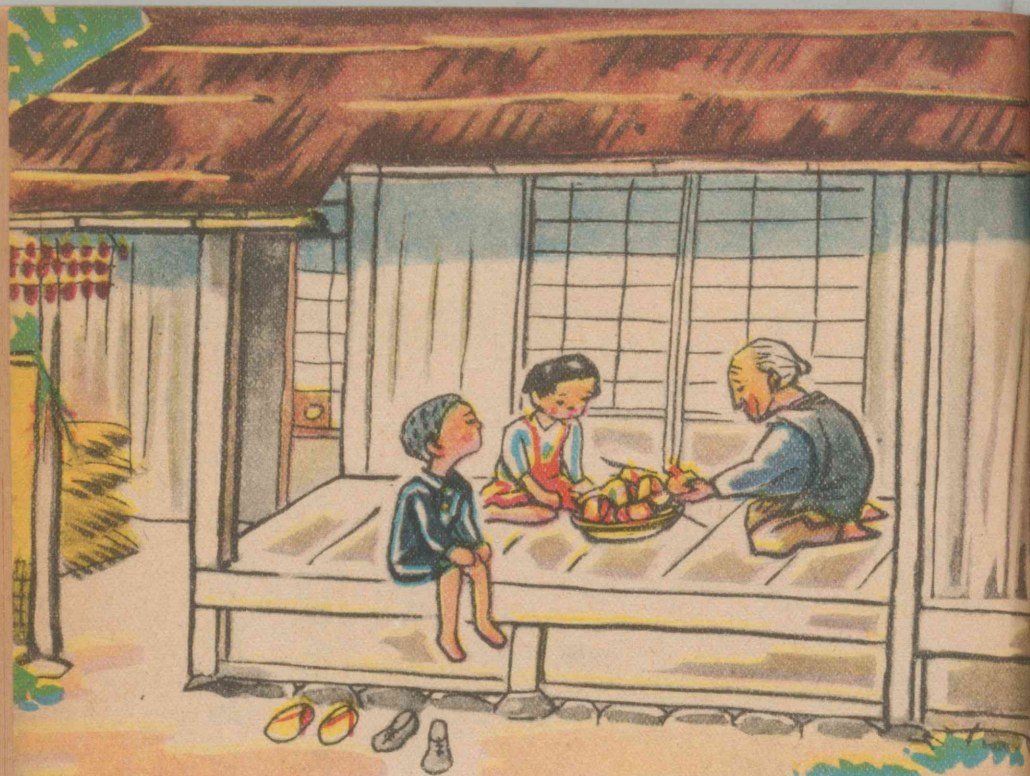
おばさんが、  
 おいもを ふかして  
 くださいました。  
 あついで、  
 ふうふう ふいて  
 たべました。  
 みんなも、  
 ふうふう ふいて  
 たべました。

ぼくらは、  
 いなごにはばとびを  
 させました。  
 ひろしくんと ぼくは、  
 一二の 三で、  
 とばしました。  
 ぼくらは、  
 いなごの とぶ あとを、  
 おいかけました。



たんぼへ いくと、  
 いなごが たくさん  
 いました。  
 いなごは、ぴよん ぴよん、  
 とんで いました。とろうと  
 すると、いねの はに、  
 くるりと かくれます。  
 いなごをつかむと、手の  
 中で ぴんぴん はねました。





「ざくろを あげよう。  
 おかあさんが  
 おすきだから、  
 もって おかえり。」  
 と、おばあさんが  
 おっしゃいました。  
 ぼくらは、  
 「ありがとう。」  
 と いった いただきました。



くりが、  
 ばらばら、  
 おちて きました。  
 くりの いがも、  
 おちて きました。  
 ぼくらは、  
 「ひゃあ。」  
 と いった にげました。

(二) ことばあつめ  
みんなで、ことばあつめを、  
しました。



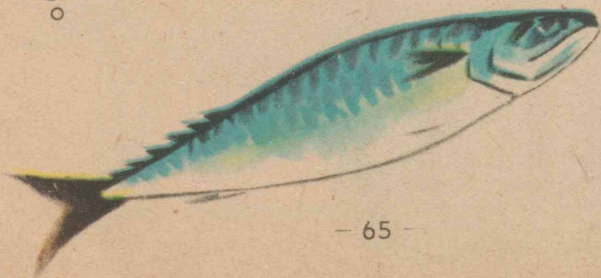
はじめに、  
あかい いろの ものを あつめて、  
なを かきました。



こんどは、  
あおい いろの  
ものを あつめて、  
なを かきました。



「みどりや むらさきと、  
まちがえないように。」  
と、せんせいが おっしゃいました。

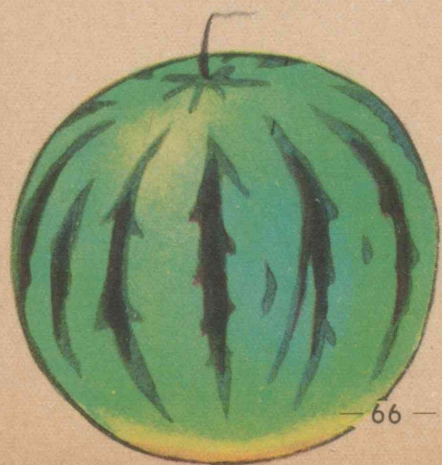
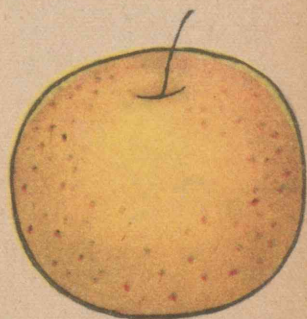




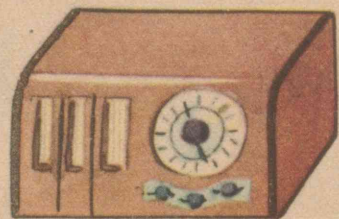
「つぎは、かたちに  
しましう。」

と、せんせいが  
おっしゃいました。

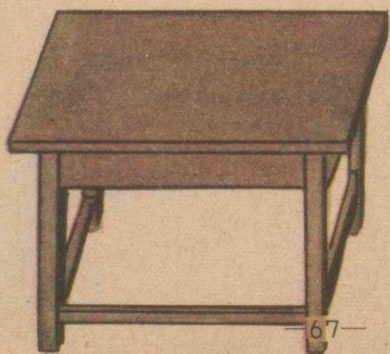
「かたちの まるい  
ものには、なにが  
ありますか。」



こんどは、四かくな かたちの ものを  
あつめて、なを かきました。

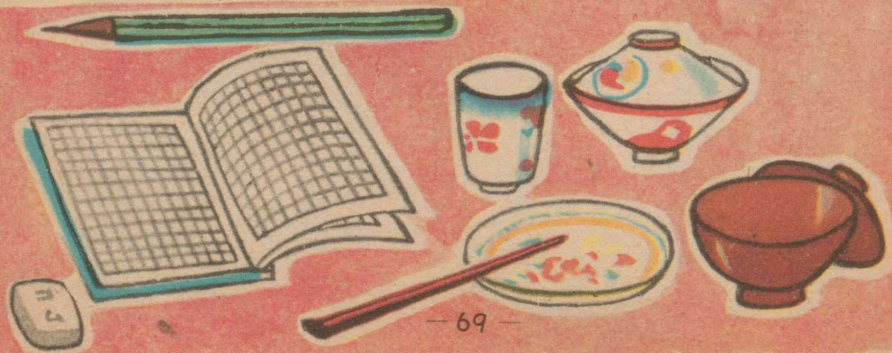


「かたちの 四かくな ものも、  
たくさん ありますね。」  
と、せんせいが おっしゃいました。





顔をあらうときに、  
 いるものをいいましょう。  
 ごはんをたべるときに、  
 いるものをいいましょう。  
 じをかくときに、  
 いるものをいいましょう。



いろいろな どうぶつの など、  
 その なきごえを あつめました。

はと——ぽっぽ　　うま——ひひん  
 うし——もう　　かえる——げくげく





五 いい てんき

(一) おきやくさん

あいこ「四にんで、おきやくさん」

ごつこを しましう。」

きよし「ぼくは、おきやくさんに

なりたいな。」

ひさお「ぼくも、おきやくさんが

いいな。」

あいこ「では、ふたりが

おきやくさんよ。

わたしと ようこさんが、

おうちの 人よ。」

ようこ「ごちそうづくりは、

みんなで しましう。」

あいこ「きいろい はなは、

おかしに しましう。」



きよし「あおい はっぱは、

おさらになるね。」

あいこ「小さな くさの みは、

くだものに すると いいわ。」

ひさお「ぼく、どんぐりを もって

くるよ。」

あいこ「ごはんは、なんで

つくりましょう。」

きよし「ほら、おこめのような

くさが あるだろう。

ぼくが とって くる。」

きよし「ごめんください。」

あいこ「あら、おきやくさんだわ。

どうぞ、おあがりください。」

きよし「いい てんきですね。」

あいこ「ほんとうに、

いい てんきですね。」



ひさお「みなさん げんきですか。」  
あいこ「はい、ありがとうございます。」

みんな げんきです。」

きよし「やあ、かわいい

おにんぎょうさんですね。」

あいこ「わたしの あかちゃんよ。」

きよし「ああ、あかちゃんですか。」

あいこ「いま、ねて いるのです。」

ようこ「どうぞ、おちやを

おあがりください。」

ひさお「どうも ありがとうございます。」

あいこ「おかしも

おあがりください。」

きよし「これは ごちそうさま。」

ひさお「おいしい おかしですね。」

ようこ「あらあら、しろが ききました。」

あいこ「しろ、しろ。だめよ、だめよ。」





きよし「しろも、おきやくさんに

しましう。」

あいこ「しろ。おきやくさんよ。

おすわり。」

ようこ「しろも、ほしそうに して

いるわ。

ほら、おかしですよ。」

あいこ「では、みんなで ごはんを

いただきますしう。」



ひさお「おいしそうな ごはんですね。」

きよし「ほんとうに

おいしそうだね。」

あいこ「どうぞ、たくさん

おあがりください。」

ひさお「どうも ごちそうさまでした。」

きよし「たくさん いただきました。」

おれいに、ぼくが

どうわを よみます。」



(二) どうわ

きよしさんの

よんだ どうわ。

あめが やんで、

いい てんきに

なりました。

木のはが、ざわざわ ゆれました。

木のはの あいだから、やまばとの

子どもが、かおを だしました。

「おや、あれは なんだろう。

きれいだな。」

たにの あいだの そらに、

きれいな、りぼんのような ものが、

まるく かかって います。

やまばとの 子どもは、りすの

子どもを よびました。

りすの 子どもは、木の あな





子どもをよびました。

さるの子どもは、木のまたから、かおをだしました。

「あれはなんだろう。のぼっていけるかしら。」

からかおをだしました。

「まあ、きれいだね。だれがかけたのかしら。」

りすの子どもはさるの



さるの子どもはたぬきの子どもをよびました。

たぬきの子どもは、やぶのあいだからでてきました。

「きれいないろだな。あれはつかめるかしら。」

たぬきの子どもは、くまの子どもをよびました。

くまの子どもは、ほらあなの



中から、でて きました。

「やあ、きれい きれい。

あれは、ひっぱって

こられるかしら。」

みんな くびを かしげて

みて いました。

そのうちに、じっとして

おられなく なりました。

「あそこへ、行って みよう。」

「あれに、つかまって みよう。」

「あれに、のぼって みよう。」

「あれを、わたって みよう。」

「あれを、ひっぱって みよう。」

みんなは、ぞろぞろ その きれいな

ものに むかって、あるきだしました。

みんなの みた ものは、なんでしようか。

みんなは、そこへ いったでしようか。



六 わたくしのけいこ

一 あかるい そら

きよしさんたちは、そとで げんきよく あそび  
ました。

○どの ぶんも、はっきりしたこえでよみましょ  
う。

○あなたがたの あそんだ ことと、どんな ところ  
ろが ちがいますか。

○あなたが あそんだ ときの ことを、よく わ  
かるように、はなして ぐらんなさい。

だれと、どんな ところで、どんな ことを  
して あそびましたか。その とき、どんな  
ことを 行って あそびましたか。

二 おはなし

きよしさんたちは、いろいろな おはなしを し  
ました。

○あなたは、にちようびに どんな ことを しましたか。はなして ごらんささい。えを かいて おはなしを する ことも できます。

○あなたの いきたい ところは どこですか。そこへ いけたら、そこで どんな ことを した"いと おもいますか。

三

おたずね

わからない ことは、たれにでも たずねましょう。

たずねられたら、はつきり こたえましょう。

○かぜは、どこへ たずねて いきましたか。そこで、どんな ことが ありましたか。

○(二)の おたずねを、あなたが かわって こたえて ください。

○きよしさんたちが、いろいろな ひとに、いろいろな ことを たずねました。あなたは、だれに、どんな ことを たずねたいと おもいますか。

四

いなかへ

きよしさんが、おじいさんの うちへ いった  
ことを、はなして くれました。

○きよしさんは、おじいさんの ところで、なにを  
みましたか。どんな ことを しましたか。

○つぎの ものの なかから、いくつか えらんで  
よく みなさい。その うつくしい ところ、め  
ずらしい ところ、おもしろい ところなどを、  
みじかい ぶんにかいて ぐらんさい。

はな やさい くだもの とり むし

○きよしさんたちは、いろいろな ことばを、たく  
さん あつめました。あなたも、きよしさんたち  
と いっしょに あつめましょう。あつめながら、  
かいて おきましょう。ともだちの いう のも、  
きいて かきましよう。

五

いい てんき

きよしさんたちは、おきやくさんごっこを しま  
した。









かんじ

一 いち (4)	二 に (6)	三 さん (10)	四 し (14)	五 ご (16)
六 ろく (24)	七 しち (49)	八 はち (48)	九 く (49)	十 じゅう (49)
手 て (41)	中 なか (60)	人 ひと (71)	子 こ (78)	
大 おお おき い (29)	小 ちい さい (29)	上 う え (35)	下 した (37)	
木 き (46)	牛 うし (56)	一 ひと つ (28)	二 ふた つ (30)	四 よ つ (35)
				四 よ (70)

よみかえ

あかるいそら しょうがくこくご 一ねん 中 (小学校 国語科 第一学年 中期用)

一 ひと つ (28)	二 ふた つ (30)	四 よ つ (35)	四 よ (70)
----------------------	----------------------	---------------------	----------------

編者

監修

奈良女子高等師範学校教授、  
同附属小学校主事

重松 鷹 泰

編修・執筆

奈良女子高等師範学校教諭

今井 鑑 三  
笹倉 美 好  
同 浜 真喜男

挿画

樋口 富麻呂

昭和二十六年 月 日 印刷  
昭和二十六年 月 日 発行  
(昭和二十五年八月十二日 文部省検定済) 定価 円

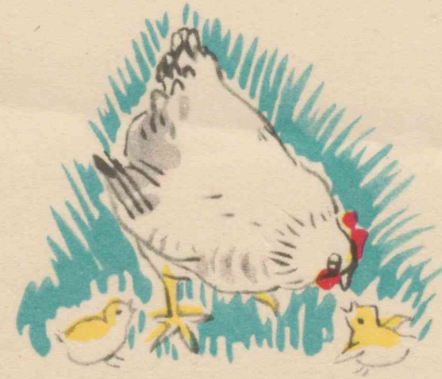
小国 141

著者 大阪書籍国語編修委員会  
代表者 重松 鷹 泰

発行者 大阪書籍株式会社  
代表者 松村 九兵衛

印刷者 大阪書籍株式会社  
代表者 松村 九兵衛

発行所 大阪書籍株式会社  
大阪市西成区津守町東二丁目五二番地



広島大学図書

0130449887



大阪書籍株式会社